

天城湯ヶ島 IC(仮称)周辺構想検討協議会レポート

第1号

天城湯ヶ島の活性化へ向けた検討会開催

天城湯ヶ島 IC（仮称）開通に伴い、その周辺に賑わいが生まれることが予想されます。それを踏まえ、市では天城湯ヶ島地区全体の将来像を検討するとともに、IC 周辺の活性化構想を今年度中にまとめることとしました。

構想実現に向けH27年12月16日検討協議会の1回目が天城湯ヶ島支所で開催されました。会議には、まちづくり及びランドスケープの有識者である国土舘大学工学部の二井昭佳准教授（委員長）のほか18名の委員（地元自治会や商工会、観光協会、農協、月ヶ瀬梅組合など）が参加しました。また、国交省沼津河川国道事務所、沼津土木事務所、大仁警察署がオブザーバーとして参加しました。協議会には、地元住民からの幅広い意見を聞くため、12月10日に天城湯ヶ島地区ワークショップを開催し、月ヶ瀬地区 IC 周辺の活性化に向けた意見やアイデアが出された内容について事務局が報告しました。

協議の結果、今後は IC 周辺に道の駅設置を前提に協議していくことが決まりました。

<天城湯ヶ島地域ワークショップで出された意見> 12月10日開催

- ・ 広域の観光案内拠点としての道の駅 ・ 多世代交流の場
- ・ 周辺の施設と連携した道の駅
- ・ 地域内の回遊、農業体験観光への展開
- ・ 狩野川と一体的な公園のある道の駅整備
- ・ オリンピック開催による相乗効果 ・ 働く場としての機能



ワークショップ風景

<天城湯ヶ島地域 IC(周辺)構想検討協議会で出された意見> 12月16日開催

- ・ 伊豆半島の東西南北の要衝、西南部の玄関口としての観光情報提供
- ・ 土地は広くないが観光のハブとして利用し、そこから普及する雇用に期待
- ・ 若い人たちが働けるような場所、施設 ・ 特徴のある道の駅
- ・ また行きたいと思える施設 ・ 道路状況に配慮した形



協議会風景

検討協議会の今後

協議会は**本年度中に 2 回**開催し、道の駅設置を前提に協議していきます。また、次回は、具体的にどこでどんな事が出来るかを地域貢献型道の駅の事例等を用い、来年 1 月のワークショップの結果と合わせて議論していきます。

天城湯ヶ島 IC 周辺構想検討協議会レポート 第1号：平成27年12月

発行：伊豆市総合政策部総合戦略課

お問い合わせ先： Tel：0558-72-9873 Fax：0558-74-3067